

法華寺だより



祖先の遺徳に篤い感謝の誠を

命の繋がりの意味を伝えましょう

日の出が遅くなり日の入りが早まり昼と夜の時間が等しくなる秋分です。

仏教では、昼夜の等しい春分と秋分を中道の象徴と受け止めお彼岸と結びつけました。お釈迦様は、中道の心を大切にされ、物事にこだわらず偏らない心で生活することが大事と教えられました。

日蓮聖人は、「此岸」も「彼岸」も全ては私達の心一つに納められているとおっしゃっています。

会ったことも無い、名前すら知ら無いご先祖様もいる。でもその沢山のご先祖様から命を受け継いで来ているのが私達。そのご先祖様に感謝と報恩の祈りを捧げる。その行いこそ「六波羅蜜」の一つ『布施』と思います。

命のリレーを感謝と報恩の祈りで過ごすお彼岸でありたいものですね 南無妙法蓮華経

故内山スミ様（故法華寺第四世内山智承婦人）は、八月十二日早朝霊山浄土へ旅立たれました。ご冥福をお祈り致します。

享年百歳。大正昭和平成、激動の世を当山寺院婦人として確かな道を歩まれたのでした。

ご冥福をお祈りします

若くして第四世の寺庭婦人と

日、本田僧正導師の下多くの檀信徒が寺葬にてお別れ致しました。

なられた後は、戦中戦後の混乱期も智承上人等と力を合わせて寺門興隆に尽くされました。しかし、近年は、足腰と視力の衰えが目立ち入退院を繰り返していました。

十四日と十五日は家族親族による密葬。二日十四日・二十五日ご覧下さい。

いざ挑戦

日蓮検定

【二級その③】

安土桃山時代から江戸初期にかけて活躍した絵師で、法華信者と知られるのは？

- 1 .. 俵屋宗達
- 2 .. 狩野探幽
- 3 .. 長谷川等伯
- 4 .. 本阿弥光悦

- 1 .. 俵屋宗達⇩江戸初期、風神雷神図屏風図など
- 2 .. 狩野探幽⇩江戸初期、御用絵師、江戸狩野派始祖
- 3 .. 長谷川等伯⇩能登の七尾から京都、江戸へ、京都本法寺の釈迦涅槃図、岡山妙覚寺の花鳥図屏風、松林図屏風等
- 4 .. 本阿弥光悦⇩江戸初期、書家（寛永の三筆）、陶芸家、法華経の熱心な信者で京都洛北に芸術村を作る

総代・世話人会 会計案件等承認

七月二十七日、当山天晴閣において平成三十年度の役員会が行われました。

前年度の護寺会の事業、決算、会計監査、更に本年度の事業、予算が話し合われいづれも原案通り確認されました。また、降誕八百年慶讃積み立て予算及びその使途等についても議論がありました。

前年度の決算については、次ページに載せておりますのでご覧下さい。

ご案内

九月

- 十三日 行学会
- 二三日 秋季彼岸法要、バザー

十月

- 十三日 行学会
- 二十日 日蓮聖人お逮夜法要
- 二一日 日蓮聖人正当法要

心といのちの相談所
老若男女幾つになっても悩みや心配事の絶えないもの
……ご来所やお電話を……

Tel 二三三・四〇三三

平成29年度 大正山法華寺護持会収支決算書
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

収入の部

科目	予算額	決算額	増△減額
護持会費	10,000,000	10,492,800	492,800
葬儀光熱費	1,000,000	1,835,000	835,000
雑収入	100,000	160,057	60,057
前期繰越金	6,199,673	6,199,673	0
合計	17,299,673	18,687,530	1,387,857

支出の部

科目	予算額	決算額	増△減額
通信費	500,000	544,476	44,476
消耗品費	100,000	103,573	3,573
会議費	50,000	53,850	3,850
護法布教費	2,300,000	1,800,919	△499,081
新聞図書費	180,000	141,538	△38,462
事務費	650,000	570,519	△79,481
車両維持費	600,000	276,556	△323,444
公租公課	155,000	158,000	3,000
火災保険料	387,000	387,380	380
慶弔費	100,000	102,870	2,870
境内建物維持費	1,500,000	1,035,670	△464,330
仏具備品費	300,000	241,809	△58,191
水道光熱費	1,500,000	2,437,883	937,883
行事費	1,200,000	1,138,243	△61,757
各種点検費	600,000	621,384	21,384
雑費	200,000	106,267	△93,733
予備費	4,977,673	2,000,000	△2,977,673
800年積立金	2,000,000	2,000,000	0
合計	17,299,673	13,720,937	△3,578,736

収入額 18,687,530円
 支出額 13,720,937円
 差引残高 4,966,593円

30年度繰越金

今月の聖語

じつじよう
実乗の
 いちぜんき
一善に帰せよ

【実乗と和平と合掌】
 信仰とは、悟りへの乗物とも言えます。日蓮聖人はより確実な乗物として「実乗の一善」と表現され、そこに「帰せよ」と教えられています。そこを揺るがぬ定点とし、それを智慧として世の中を見つめ、世界全体の苦しみが除かれる祈りを捧げ、救いたいと誓願することです。それは、あなたの合掌から始まるのです。

日蓮聖人御遺文「立正安国論より」



法華和讃

(六十一)

じやくこう みやくこ
 寂光の都はこそ身延山

じゆうあくごぎやく ほとけ
 十悪五逆も仏とぞなる

なむみようほうれんげきよう
 南無妙法蓮華経

妙法和讃

ミニ私見

「寂光の」安らかな仏様の世界
 日蓮聖人が晩年を過ごした身延山は、安らかな仏様の世界にも似ている。この山にお詣りすると、背負ってきた諸々の罪も軽くなり、とても安らかな気持ちを得られます。

編集後記

◆今年も収穫の秋◆北海道は日本の重要な食料生産基地、中でも十勝は生産量第一位の作物が幾種類も◆農林水産業が元気ならば十勝も元気◆多くの人の汗と智慧・努力が必要だったを忘れまい◆◆

参照・引用

- ※日蓮聖人聖語カレンダー
- ※「日蓮検定」
- ※「日蓮宗新聞」
- ※「日蓮と日蓮宗」
- ※「仏教語散歩」等々